

地区社協の活動と取り組みを紹介します

一光地区

「持ちつ、持たれつ」



昨今は人にも社会にも、無関心という人が増えてきました。「向こう三軒、両隣り、皆仲良し」等の言葉は、ノスタルジアを感じさせる様になってきました。しかし、当地区においては、住民意識の底流に「感謝」を基調にした「持ちつ、持たれつ」の互助精神が脈々と流れていると思います。この事は、地区にある唯一の公共施設、一光公民館が掲げる「地域は家族」のスローガンに表れています。お陰で、どんな行事も高参加率！地区社協もこの土壌に立って、同じ方向で活動しています。その中でも、毎年恒例の一光地区社協主催の活動を紹介します。



一つ目は、「ふれあい福祉まつり」。この日は地区内外よりたくさんの方が訪れます。公民館1階ロビーには、地区民のお宝自慢コーナー、手作りの服、カゴ、押し花額、野菜、デイホームでの作品、盆栽等が所狭しと飾られています。

二階では和室を舞台に見立てて、いろいろな余興が催され、その合間には、婦人会の心づくしの郷土料理、毎年好評のぜんざいと、じゃがバター！本当においしい物がいっぱい！最後にビンゴゲームで締めくくり、笑いの絶えない和気あいあいの一日となります。

二つ目は、「軽スポーツの集い」として、地区住民の健康増進と親睦を図るため、毎年新しいゲームを取り入れて楽しんでいきます。今年は、ジャガイモをゴルフボールに見たてたパッティングゲームが好評でした。思うように転がらず、打つ度に大爆笑の連続でした。

(一光地区社会福祉協議会

会長 竹田 法英)



一乗地区

福祉まつり

「彼岸まつり」共催

市内49地区社協の活動を順番に自己紹介しています。

一乗地区は、7自治会で全戸229軒の小さな地区です。毎年恒例となっている福祉まつりは、敬老会、公民館祭りと合同で「彼岸まつり」として、9月のお彼岸の頃に小学校の体育館で開催しています。今年も小学生の合奏や歌、足羽第一中学校の吹奏楽部の演奏や詩吟、日本舞踊などがぎやかに行われました。

今年は、初めての試みとして、ハンドマッサージをご希望の方に体験して頂きました。地区のあさくらデイサービスセンターの看護師さんと連携して血圧を測り、手や腕をさすりながら体調の事などのお話をしました。体験された方々からは、とても



も気持ちよかった、楽になった気がする」と好評でした。

アトラクションの合間には、軽い体操で体をほぐしたり、おもしろおかしい「認知症予防のお話」で笑ったり、楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。JA女性部のス Copp 三味線や和太鼓衆・朝倉の演奏もあり、今年も大盛況の一日でした。

公民館、自治会連合会、各種団体の方々のご努力のおかげで、良かったちでお祭りが続けられて、とても感謝しています。

(一乗地区社会福祉協議会

会長 坂下 義博)